

十勝大学設置促進期成会
平成 23 年度の取り組み状況等について

1 十勝大学設置促進期成会の会議開催経過等について

(1) 理事会、総会の開催

- ◇ 平成 23 年 5 月 20 日 ・第 1 回理事会開催 ～総会議案について
- ◇ 平成 23 年 5 月 30 日 ・第 1 回総会開催 ～事業・決算報告、今後の取組方針について、事業計画・予算

今後の取組方針：これからの大学の取組は、理事会での議論を踏まえ、これまでの公私協力方式の大学誘致等から、帯広畜産大学を核に、地域特性・優位性を活かし、まちづくりと連動させながら、段階的に高等教育機関の整備をすすめる取組へと方針転換するものです。

- ◇ 平成 23 年 11 月 25 日 ・第 2 回理事会開催 ～取組状況、帯広畜産大学との協議経過、期成会のあり方検討に係るアンケート結果について
- ◇ 平成 24 年 1 月 24 日 ・第 3 回理事会開催
～「期成会のあり方検討に係る小委員会」の設置、
小委員会での主な整理事項・検討の視点、今後の取組について

(2) 期成会のあり方検討に係るアンケート（意見照会）

- ◇ 平成 23 年 8 月～10 月 ・理事会メンバーを対象にアンケート実施
～8つの設問（①組織目的 ②段階的な組織見直しの考え方 ③望ましい組織体制の形 ④メンバー構成 ⑤組織の体制 ⑥組織の規模 ⑦組織の名称 ⑧期成会のあり方全般についてのご意見）、回答 18 名

(3) 期成会のあり方検討に係る小委員会について

① 目的

「期成会のあり方」に係る議論をすすめるため、理事会内に臨時的に「期成会のあり方検討に係る小委員会」を設置する。

② 開催経過

- ◇ 平成24年 1月24日 ・小委員会事前打合せ（理事会終了後）
～座長・副座長の互選、小委員会開催日程の調整 など
- ◇ 平成24年 2月 7日 ・第1回小委員会開催
～小委員会の役割、進め方の確認、組織検討に係る課題整理
（組織目的、役割、体制 など）
- ◇ 平成24年 2月21日 ・第2回小委員会開催
～組織検討に係る課題整理
（組織目的、役割、体制、畜大期成会との整合性 など）
- ◇ 平成24年 3月26日 ・第3回小委員会開催
～組織検討に係る課題整理（組織目的、役割、体制、畜大期成会との整合性、
人選）、小委員会としての方向性確認

2 地域の発展に必要な高等教育機関に関する調査・研究

(1) 帯広畜産大学との協議について

① 協議の場について

協議の場は、平成 17 年に締結した包括的連携協力協定に基づく連携協議会を活用し、同協議会の下に、全体企画調整を行う検討会議『地域発展に必要な高等教育の整備充実に係わる検討会議』を設置し、さらにその下に、テーマ毎に専門部会を設置し、具体的な協議、取組をすすめています。

② 連携協議会の開催

- ◇ 平成 23 年 7 月 22 日 ・第 1 回連携協議会開催 ～ 協議のすすめ方について
- ◇ 平成 23 年 10 月 20 日 ・第 2 回連携協議会開催 ～ 連携の考え方、協議のすすめ方、今後について
- ◇ 平成 23 年 12 月 14 日 ・平成 23 年度第 1 回地域の発展に必要な高等教育の整備充実に係わる検討会議開催
～アグリバイオ人材育成部会報告 など
- ◇ 平成 24 年 2 月 22 日 ・平成 23 年度第 2 回地域の発展に必要な高等教育の整備充実に係わる検討会議開催
～食・農・医連携研究センター部会の設置
国内外の大学等との連携に関する意見交換会の設置
- ◇ 平成 24 年 2 月 27 日 ・平成 23 年度第 3 回連携協議会開催
～平成 23 年度の取組経過報告、平成 24 年度の取組について
- ◇ 平成 24 年 3 月 30 日 ・平成 23 年度第 3 回地域の発展に必要な高等教育の整備充実に係わる検討会議開催(書面会議)
～「フードバレーとたち人材育成事業」共同事業契約について
(平成 24 年 4 月 17 日協定締結)

(2) 国内の大学や企業等との連携に関する調査・研究、情報収集活動

- ◇ 平成 23 年 6 月 23 日
 - ・早稲田大学総長室、教務部、キャリアセンター等（経過報告、今後の展開 など）
 - ・総務省訪問 国立大学法人への寄附制限に係る法改正情報収集
 - ・その他訪問先 学校法人佐野学園、西原早稲田大学元総長

- ◇ 平成 23 年 11 月 14 日
 - ・東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命科学研究教育施設（Twins）
 - ・早稲田大学大学院公共経営研究科
 - ・早稲田大学キャリアセンター

- ◇ 平成 23 年 11 月 29 日
 - ・東京大学医科学研究所
（先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門）

- ◇ 平成 24 年 3 月 21 日
 - ・鳥取大学（産学官連携、鳥取大学振興協力会の活動等）、
新生公立鳥取環境大学設立協議会（公設民営大学⇒公立大学法人への移行）

(3) 海外大学との連携に向けた取組

- ◇ 平成 23 年 9 月 4 日～ 9 月 9 日 「米国ウィスコンシン州マディソン市訪問」
 - ・姉妹都市締結 5 周年記念事業マディソン訪問団参加
 - ・マディソン校バブコック乳製品加工施設視察（9 月 6 日 畜大の視察に参加）
 - ・マディソン校周辺機関視察（9 月 7 日 市独自視察）

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| ① リサーチパーク(URP) | ② キッコーマン USA ラボラトリー |
| ③ WARF | ④ マディソンエリア・テクニカル・カレッジ(MATC) |

3 筑波大学大学院留学生受入事業

(1) 事業目的

筑波大学大学院留学生の移動講座を帯広市で実施し、市民との交流を通して帯広・十勝への理解を深めることを目的とする。

(2) 事業名 筑波大学大学院留学生帯広サマースクール

◇ 講座名：筑波大学大学院人文社会科学研究科国際地域研究専攻 JICE-JDS「国際関係論特別講座」

(3) 平成23年度受入実績

- ① 期 間 平成23年8月25日(木)～8月31日(水)
- ② 人 数 26名 (教員等 3名 / 留学生 23名 [12カ国,中国・カンボジア・ケニア ほか])
- ③ 地元聴講生 2名 (教育関係1人・会社員1人)・・・5か年累計 20名
- ④ 実施内容
 - ◇ 講 義 (留学生移動特別講座)：8月26日(金)・8月27日(土)・8月30日(火)
 - ◇ 現 地 視 察 (農業関連施設等の視察)：8月28日(日)・8月29日(月)
 - ◇ 一般公開講座：8月27日(土) 約60名の参加
 - 演題 「日本外交における中南米の位置づけ (人文社会科学研究科教授 遅野井茂雄氏)」
 - 「チリ、ベネズエラ、ブラジル～経済政策から見た発展の可能性」(准教授 箕輪 真理氏)

(4) 過去の受入実績(平成19年度～ 5か年 合計 105名)

- ◇ 平成19年度 32人 (教員4人・留学生28人)
- ◇ 平成20年度 18人 (教員3人・留学生15人)
- ◇ 平成21年度 14人 (教員4人・留学生10人)
- ◇ 平成22年度 15人 (教員2人・留学生13人)
- ◇ 平成23年度 26人 (教員等3人・留学生23人)

4 早稲田大学インターンシップ受入事業

(1) 事業目的

早稲田大学の学生をインターンシップの学生として受入することにより、帯広・十勝への理解を深めることを目的とする。

(2) 事業名 「早稲田大学インターンシップ」

(3) 平成23年度受入登録機関

- ① JICA帯広国際センター
- ② 帯広市農政課（農業技術センター）
- ③ 帯広市環境モデル都市推進室
- ④ 帯広市川西農業協働組合
- ⑤ (財)十勝圏振興機構

(4) 平成23年度受入実績

- JICA帯広国際センター (1名)
 - ・創造理工学部3年 松下文哉 8月8日～8月19日 12日間 (市と共同受入、受入メニューに参加)

(5) 過去の受入実績 (平成21年度～)

- ① 平成21年度受入実績 3名
 - ◇ JICA帯広国際センター (2名)
 - ・法学部3年 8月2日～8月17日
 - ・政経学部3年 8月6日～8月19日
 - ◇ 帯広市役所農政課 農業技術センター (1名)
 - ・政経学部3年 9月3日～9月24日
- ② 平成22年度受入実績 1名
 - ◇ JICA帯広国際センター (1名)
 - ・文学部3年 8月6日～8月19日

5 星槎大学帯広サテライト(学校法人 国際学園)の展開

(1) 開校日 平成21年10月1日

(2) 設置場所 帯広経済センタービル3階(西3南9)

(3) 事業概要

- ◇ 教育支援やフリースクール事業(高校の中途退学者、小中学校の不登校児童生徒、特別支援教育の必要な児童等)
- ◇ 生涯学習事業(市民対象)や国際交流・国際理解に係る講座の開設
- ◇ 教員免許更新講習の実施

(4) おびひろ地域若者サポートステーションの運営

① 開設日 平成23年6月2日

② 設置場所 帯広信用金庫第3ビル内

③ 事業概要

- ◇ 学校法人国際学園が厚生労働省から受託。同サテライトが運営。
- ◇ 悩みを抱える若者(15~39歳)が就労に向かえるような支援を行う。
- ◇ 道内では札幌、旭川、釧路、函館、苫小牧、帯広に設置されている。
- ◇ 平成24年3月末まで延1,778人の利用。

(5) 地域貢献事業 (おびひろ文化体験事業実行委員会事業)

- ◇ 平成22年度 ジュニア文芸、アマチュア・オーケストラフェスティバルの開催
- ◇ 平成23年度 アマチュア・ミュージックフェスティバルの開催 など

